

细腻なんて言わせない!!

247



「美容師として励むばかりでなく、この仕事を生かしながら人のために役立ちたいと思い、入会したんですよ」と、話す琴田さん

人のために奉仕、役立てば

「皆さんとつながりたい」と話す

琴田 慶さん

■美容室「糸」経営
■いわき市佐糠町東一丁目二二ノ四

電話／〇二四六一六二一六七〇八

平成十年からスタートした、「特定非営利活動促進法」(NPO法)。利益を目指す一般的な会社、事業所とは違い、地方自治体などから法人格の認証を受けた民間非営利団体が、今、それぞれに目的を掲げ、全国各地で社会貢献に努めている。

「ただ単に美容師として技術を提供するだけでなく、何か社会のためにお手伝いをしたい、と思っていました。そうしたところ、今のこの仕事でもできる『ジャーダック』(JHDAC)という法人をブログなどで知り、参加することになりました」

こう柔らかに語る琴田慶さん(四〇)が入会したその法人は、大阪に本部を持つ国内で唯一の組織。小児ガンなどの治療過程や、先天性の無毛症、あるいは不慮の事故で頭髪に悩みを抱えている十八歳未満の若者たちに、髪を無償でプレゼントして笑顔を取り戻してもらおうという、「ヘアードネーション活動」を展開している。

つまり、この運動に賛同した全国の美

美容院などから集まった髪で「かつら（One Wig）」を制作し、希望者に届けるボランティア団体。県内で同法人に入会したのは琴田さんの店舗が初めてで、東北地方でもまだ数えるほど、という。

琴田さんは、高校を卒業後、美容師の資格を取得。その後、埼玉の美容院に就職して十年ほど勤務した。帰郷後は、母親の営む居酒屋を手伝う傍ら、勿来地区の美容院で「アルバイトしました」。

「継続は力」ですよ

「いつかは独立して自分の美容院を持ちたい」と考えていた彼女は、二年前、念願かなって同所に約五十平方メートルの店舗を持った。店内は茶系を基調としたシックな作りで、「着付けもやって

います」と、二畳ほどの畳敷きのコーナーも設けている。店は午前九時から午後六時まで、休みは、不定休。予約優先のシステムだ。

開店のキャリアはまだ浅いものの、常連も多く、近辺だけでなく、各地から訪れるようになった。客層は三十代から五十、六十代まで幅広く、男性の客もカットやパーマで訪れており、経営状態については、「まあまあということですかね」と、ロングの髪を揺らしながら苦笑い。

「ヘアードネーション活動」については、この二月から始まったため、まだこ



れかという状況だが、かつらをつくるための髪の長さは、最短でも三十一センチ以上という決まりがある。

また、「極端に傷んでいるような場合は髪は利用が難しい」と話しており、「ただ今、友人たちに声をかけ、協力者を募集中」というところで、「二年後には、自分の髪を提供したいと思っています」と、笑顔で話していた。

身長一七〇センチという大柄、パワフルな彼女、「つなぐもの、結びつけるもので糸なんです」と、店名の由来を説明し、「この仕事を続けながら、人のために奉仕、尽くせればいいと思っています。将来は、スタッフを増やして大きく出来れば…。継続は力ですからね」と、笑顔の中で語っていた。



「二年後には自分の髪も」

頭髪に悩む人々へ「いい髪」募集中!

プロフィール ことだ・けい

1974年5月4日生まれ。植田町出身。「私、お客さんへのシャンプーが大好きなんです。おかしかな」。アロマセラピーの資格も持ち、店内で“自然の香り”を提供、客へのリラクセス、ストレス解消などにもつなげている。仕事が終わった後は、週に3～4回はフィットネスクラブで汗を流す。得意な料理は「野菜スープやトン汁などの汁物」。A型

■お知らせ=このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。



「残したい日本のホンモノ」 伝統的工芸品 しいな織逸品展

■会期/平成26年5月1日(木)～5月13日(火)
午前10時～午後6時(最終日は午後5時閉場)



小野美術

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F

☎0246-35-0383

HP:<http://onobijutsu.jp> e-mail:onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp